



東 京 都 大 田 区 蒲 田 1 丁 目 29 番 8 号
 電 話 (3732) 7821 (代)
 蒲 田 工 業 協 同 組 合
 機 器 編 集 及 協 同 行 委 員 会
 荻 野 茂 編 集 所
 東 京 都 大 田 区 中 央 8 丁 目 5 番 1 号
 南 大 印 刷 工 芸 株 式 会 社

年頭ご挨拶



蒲田工業協同組合

理事長 荻野 茂



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
 組合員並びに木鶏会の皆様にはお健やかに新年をお迎えの事と心からお慶び申し上げます。

昨年は「アベノミクス」効果により円高の是正、株価が上昇しました。

我々小規模企業にとっては、その実感は未々ですが、仕事の波が従来より安定してきている様に感じます。
 昨年の11月に交流会を開催致しました。

○組合設立当時の先輩経営者の方々の

強く、熱い思いを知ってもらいたい。

○組合設立後64年経過し、組合行事の参加者が固定化されてきているので、もっと多くの方々に参加して戴き、情報交換をして、交流を深めてもらいたい。と主旨のもと多くの会員の皆様に参加して戴き、活気溢れる会になりました事、御礼申し上げます。

又、組合が活性化する事により、上部団体の大田工連や東京都中央会の大きな力となり、我々ものづくり企業の大きな力になると確信しております。
 今年の干支は「午」です。長い首と速い足、協調性を図り、決断行動を迅速に行ない、負けず嫌いを発揮する、活発な一年にしたいと思っております。

謹賀新年

平成 26 年 元旦



「未来予測と長寿企業のDNA」

大変化の時代にあえて挑む

国立大学法人電気通信大学特任教授
 100年経営の会理事長

千野 俊猛氏 講話より

今日皆様にまず申し上げたいのは、よくぞ耐えて、耐えてこの間生きて頂いて有難うございます。もう皆さんの会社は大丈夫です。なぜならば、この間に駄目な会社は終わっています。それ程日本はひどかった時代を



千野 俊猛氏

目次

「年頭ご挨拶」	①
「千野先生講話」	④
「組合員だより」	④
「業務報告」	⑤
「掲示板」交流会開催	⑤
「木鶏会々々長ご挨拶」	⑤
「木鶏会の活動」	⑤
「年賀広告」	⑦
	⑧

過ぎたのです。日本は完全に今変わって、新しい時代を迎えております。これまでの厳しい中に耐えられた皆さんは、これから必ず新しい成長に向かうことが出来ます。但し、この新しい成長は従来に一度経験した様なインフレの時代とは違います。別の意味での新しい成長が有るということです。それを解決、未来予測をして、皆さんもこの先々のことがわかれば、こんな簡単なことはいですから、皆さん予測しましょう。皆さんがこれまで耐えられた力をバネに、新しい成長を掴んで頂きたい。

失われた20年と言います。これは何を云っているのか。1991年から2011年迄の20年間の年平均成長率は何と0・8%、ほとんど成長しなかった20年。このことを失われた20年と云っていますが、特に悪いのが、2011年迄の直近の5年間、マイナス成長なのです。ですから皆さんよく耐えて頂きましたと私が申し上げたのは、マイナス成長経験されて生き残られた。という事です。

これ程の苦しい時代を超えて日本がかなり今、変わってきています。日本が変わったのではなく、世界ががらりと変っている。その瞬間を捉えてここから先はどうなのだ、これを予測しようじゃないかと。未来学はないのか、調べました。そうしたら本当に楽しい本がありまして、それからそれにズッポリ浸かって、これから先の世の中

を予測しようじゃないかということになりました。何が明日起ることもわからない世の中に、10年先20年先の予測なんて、大胆すぎて馬鹿げているじゃないかと云われますが、わからないから、わからない程かえってこの先はどうなるのかを予測する意味が有る。30年、まして50年先どうなるの？日本の生きるは道あるの？ということが主要なテーマです。ところが一方で、100年生きてきた企業というのは、震災を3回戦争を2回、それから経済事件。米騒動から金解禁、戦後のどさくさ、ドルショック、オイルショック、全て乗り越えているのが100年企業なのです。この乗り越えられた企業のDNAって何か、というのを研究するのが100年経営の会なのです。その2つのテーマのお話をさせて頂きたいと思えます。

未来を予想する為の要素

国の未来を予想するのに、どういう要素を使っているかというと、まず人口動態、それからエネルギーの問題。科学技術の発展、食糧、水の確保、この様なものです。そうすると世界のリーダーはどこになるか、どこが大きな成長を遂げるか、全部これにならしてみると読めてくるのです。これが常態要素です。非常態要素。わからない要素としては、まず戦争です。どこで起

るのか。民族戦争、宗教戦争など色々なものが有ります。但し、世界大戦は人間の知恵によって避けられている事実が有ります。そして、何とも言えないのが大災害。この要素は何とも読めないですが、常態要素は読める訳です。それで予測された数字が有るのです。一番大きな問題は、人口の問題です。人口の中で一番大事なのは、生産年齢人口なのです。生産年齢人口は何かという、働きのことです。働きの多い国程経済は成長するのです。経済の原則です。人口ボーナスという言葉が有ります。逆に日本みたいに人口が減り始め、当然生産年齢人口も減り始め、経済学でいう言葉で人口オナーズと有るのです。

日本とドイツは圧倒的な高齢社会になります。皆さん高齢化社会何て言葉はもうないので。高齢社会、年寄りばかり。高齢化は年寄りになるよと云う事です。完全に日本とドイツは高齢社会に入りました。

次に、技術開発。先ず情報技術。要するに、データ処理、ビッグデータ、オープンデータ、ソーシャルネットワーク、どんどん発達していききますが、マイナス面もこれからどんどん出てきます。ビッグデータはものすごい量のデータが出てくるのです。ビッグデータとは何か。インターネットの拡大と、スーパーコンピュータが合わさったことによって、世界中で起きたことが、一瞬に処理出来る。そういう時代が来まし

た。どんなメーカーでも得ることが今は出来ます。ところが問題は集まるデータと、集めるデータの差を良くわきまえてやらないと、いくらでも情報におし潰される時代がきます。皆さんが欲しいデータが集める情報です。集まってくる情報は、捌かなくてはいけない。これをよくわきまえて下さい。オープンデータというのは、官庁とか自治体が持っている情報を全部これからオープンにしましょう。オープンすることによって、世の中変わりますという動きが出ています。

それから、機械・モノづくり。今後の技術開発で注目されるのは、勿論ロボット。問題は3Dプリンターです。皆さんご興味の3Dプリンター。3次元CADとプラスチックの成型器がくっついて一緒になったものです。世の中のモノづくりを変える3Dプリンターが研究され始めています。これも皆さん注目ですからよく覚えといて下さい。

それからバイオ、遺伝子の組換え、精密農業があります。6次産業というのは、何故6次産業というかご存知ですか。まず、農業が工業化してサービス業まで入れて、一緒になったのが6次産業というのです。1次産業、2次産業、3次産業をたしたものが6次産業で、それを覚えていかなきゃ農業は変わりません。TPPの問題でも有ります。

エネルギー問題で云えばシェール革命。シェール革命は何かと云つたら、シェール岩盤というのがあります。頁岩の間に挟まっているオイル、ガス。これが有ることが前から分かっていたのですが、採り出すのはお金がかかるから置いといただけなのです。ところがそれを採り出す技術がどんどん開発されてきました。そうしたら、アメリカに一番有るじゃないか、しかもアメリカに一番技術が集まっているじゃないかというところで、アメリカが一躍、金もエネルギーも持った。これがシェール革命という言葉です。その環境問題さえ解決すれば、アメリカが天然ガスも石油も世界一の国になります。

今、米国経済は完全に復活して、世界のリーダーといわれています。住宅、自動車、完全回復して株高、ドル高でインフレ傾向です。アメリカが圧倒的に世界のリーダー。完全に覇権を握りました。欧州は財政が厳しい状態が続いています。要するにドイツとフランスだけが抜きんでいいだけで、他が悪いから勝負にならないのです。だから当然ヨーロッパは厳しい。

日本はアベノミクスの効果といえますけれど、安倍さんが出てきて、世の中かき回しているからアベノミクスというのですよ。安倍さんの経済が成功しているのではない。安倍さんがミックスしているだけなのです。日本が良くなったのは、アメリカ力の

せいです。アメリカのお陰で日本は経済が良くなっているのです。これからしばらくは全然心配する必要は無い。株が上がる、土地も上がる、間違いなく日本の成長はきます。中国もそこに安定して、アメリカが成長するのが一番のベストシナリオ。アメリカが覇権国家になって、世界の安定がはかられる。しかもこれが日本にとって最も良いシナリオです。日本の同盟国ですから。

2030年の世界

2030年、アメリカはマネーとエネルギーを掌握して、G1を実現。「経済力」「軍事力」「科学技術力」で他を圧倒する。「シェールガス・オイル」でエネルギー大国。人口も毎年300万人増えている。そんな国は無いですよ。但し維持する条件が、中国経済がへたらないこと。それからユーロ圏が破綻しないこと。その中で日本はどうするのか。日本はドイツと共に、超高齢社会に突入しています。働き手が減少して成長にブレーキがかかっている。GDPは第5位に転落します。インド、フランスにも抜かれますよ。日本に未来はないのか、悪い予測しか出てこないじゃないですか。とんでもない。日本は大丈夫ですよ。日本に対する積極的視点、デフレを脱却して新しい成長に入る。アメリカが覇権を持って

いるのが最大のチャンスです。日本はこの20年成長しなかったじゃないですか。何故ならデフレだったからです。要するにモノづくりを変える。作り方を変える、作るモノを変える、組織を変える、産業政策を変える、何でも今迄と違うやり方で変えればいいのです。これからの既存の産業は、買換え需要中心になってきます。新しい需要が無ければ内需が増えない訳です。日本の国内の内需を育てないといけない。そのための内需の候補は何か。環境、省エネ、健康、観光。ですから新しいモノづくりは環境対応、省エネ対応、安全対応、それが付加価値になって儲かる訳です。だから作り方を変えなさい、作るものを変えなさい、と云っているのはそれなのです。日本はこれだけ世界に誇る文化なのです。日本はこんなに小さな国だけど、世界第2位ですよ。

エネルギー問題。脱原発は可能かどうか。再生エネルギー、新エネルギーをと言っていますが、今急に原発を止めたら日本の経済はヘタヘタになるから、急には止められません。只、事故が起つては困る訳ですから、安全対策を最大限にやることと同時に、新エネ、再生エネルギー、出来るものは何でもやる。太陽だろうが、波力だろうが、地熱だろうが何でも使う。何でも使って原子力を出来るだけ使わなくする。それ以外方法は無いのです。それをやらない限り、

100年企業を目指して
100年企業の特徴が有ります。
1つは明確な経営理念を持っていること。拡大ばかりしていたら駄目です。皆さん商売を広げ過ぎないで下さい。企業が永続的に成長していくためには社会と共存する必要、金ばかり儲けていないで生産者より消費者へ、老舗あって老舗にあらず、生業にこだわると色んなこと言っていますが、社会の為に生きるという目標を立てることが大事なのです。これが社員には一番高い目標になる。社員が同じ方向に向いたらその会社は本当に大丈夫なのです。

次は顧客。従業員を重視した長期的な会社の発展。要するに人を大事にする会社でないと企業はもちません。

日本は駄目になります。あと一番大事なのは、科学技術とモノづくりにもすごいお金を投資して、世界にモノづくりと科学技術で貢献する。これが戦争をしないで日本が生き残る唯一の手段です。間違いなくそうです。



最後は、伝統の継承と革新。これは二律相反なのです。要するに自分達の企業のコアを守りながら、新しい所を開拓しなさいという事です。この変化に対応しなかったら会社は潰れます。ところが、新しいモノをやらなきゃいけないというのに、いうからといって自分達が全く出来ないものを始めたら、潰れてしまうのです。自分達が持っているコアの技術を大事にしながら、そこから派生する新しい事業をやりましょう。皆さんが持っているコア技術を使って、環境、省エネ、安全に繋がるものをやってみれば必ず新しい継承がとれます。

伝統は革新の積重ねだ、変わる時代に企業を伸ばすには新しい人材が必要。そして人を活かす。コアを守りながら新しいモノに挑戦して行く。これが無いとやっぱリー00年は持たないのです。

事故や、法律の問題、原発、災害、色々なリスクが有る訳です。リスクの種類、上げるまでもない。皆さんの中でよく生きていますよね。自然災害、経済リスク、金利が上がる、為替が下がる、株価が上がる、投融資の失敗、不正取引、不祥事、こんな最近いつぱいあるじゃないですか。全部このリスクを管理して、経営をしなくてはいけない。リスクマネジメントをどうするのか。リスクをコントロールするのがリスクマネジメント。自然対策、事故対策があつて、起きてからでは遅いですから事前の

対策をしましょう。自分がやっている事業の中でどういうリスクが起り得るのか、調べましょう。大概どんな事が起ったら、どんなことが起るのかを、先ず認識する。それを社員に徹底する。それを避ける方法、要因を遠ざける。最後にどうしようもなかったら保険に入る。事後対策としては、起ってしまったら、リスクの被害を最小限にする。こういったリスク管理というのを常に勉強して下さい。

そしてブランドの確立。ブランドというのは、皆さんの会社のブランドです。経産省の定義なのですが、ブランドとは潜在する需要を呼び起こす力、既存の所有者に満足を与える力、これでブランドが確立されるのだと言っています。

ブランドというのは、付加価値を生み出す力なのです。財産価値、そして絶対に値下げを認めない価格維持力。絶対に値下げ競争をしている限り成長はありません。それから需要が供給を決定的に上回る商品力。供給力よりはるかに高い需要が有る。

ブランド力を付けると共にリスク管理をする。これによって新しい製品は、皆さんの前にもすごい果実となって待っていますから、それを絶対掴んで下さい。そして、皆さんも100年経営企業になって、日刊工業社100年経営の会に是非入って頂きたいと思えます。どうもありがとうございました。

組合員だより



代表者変更

- 荏原工業 株式会社
新代表者 長井 陽明
- 岡田鋳金 株式会社
新代表者 増田 武夫
- 大進精機 株式会社
新代表者 宮田 正広
- 株式会社 瀧口製作所
新代表者 古田 茂樹
- 株式会社 タンケンシールセーコウ
新代表者 山内 祐二

訃 報

- 小林 八重子 様
株式会社 日章機械 代表取締役 小林 章彦 氏のご母堂 小林 八重子 様はご逝去されました。謹んでご報告申し上げますと共にご冥福をお祈り致します。

鎮 目 保 氏

大成工業 株式会社 代表取締役 鎮目 哲郎 氏 ご尊父 鎮目 保様はご逝去されました。謹んでご報告申し上げますと共にご冥福をお祈り致します。

豊 間 房 子 様

株式会社 気球製作所 代表取締役社長 豊間 清氏のご母堂 豊間 房子 様はご逝去されました。謹んでご報告申し上げますと共にご冥福をお祈り致します。

業 務 報 告

一月九日

- 1新春講演会
講師 京都大学教授 中西輝政 氏
テーマ 「日中冷戦時代の到来」

二月十二日

- 常任理事会
1シティボックス 保証賃料条件改定の件
全員異議なく承認

四月一日

- ものづくり補助金説明会
講師 中小企業診断士 小泉 誠二先生

四月十九日

- 常任理事会
1平成二十四年度事業報告・決算報告・剰余金処分案承認の件
全員異議なく承認

2平成二十五年度事業計画案・収支予算案承認の件
全員異議なく承認

3平成二十五年度借入最高限度額決定の件
一組合員に対する貸付最高限度額決定の件

手数料最高限度額決定の件
全員異議なく承認

4役員報酬決定の件
全員異議なく承認

四月十九日

理事会

議題は常任理事会上程のもの
全員異議なくこれを承認

五月二十一日

- 1平成二十五年度通常総会
可決事項全員異議なく諒承

2 講演会

講師 電気通信大学 特任教授

千野 俊猛 氏

テーマ 日本経済のパラダイムシフト
「デフレ脱却とモノづくり再生」

3 懇談懇親会

六月十一日

常任理事会

1 中央会全国大会の件

全員異議なく承認

七月十八日

定期健康診断の巡回

九月十二日

常任理事会

1 賀詞交歓会の件

2 「工業蒲田」の件

全員異議なく承認

十月十日

常任理事会

1 交流会の件

全員異議なく承認

十一月六日

1 講演会

講師 電気通信大学 特任教授

千野 俊猛氏

テーマ 未来予測と長寿企業のDNA

2 組合からのお知らせ

3 交流会

十一月十二日

常任理事会

1 組合総会の日時及び講師の件

全員異議なく承認

十一月二十一日

二十五年以上勤続従業員に対して区長から感謝状

贈呈

(株)東京精密器具製作所 橋本千鶴子 様



年末・年始事務取扱のお知らせ

年末・年始の組合事務局の事務取扱日は

左記の通りとさせていただきます。

記

年末 十二月二十七日(金)まで

年始 一月六日(月)から

交流会開催

日時・平成25年11月6日(水)

場所・プラザ・アペア

【次第】

1 講演会

2 組合からのお知らせ

3 交流会

当日は、組合員55社中32社の出席、木鶏会の準会員は6社で総勢46名の方が参加されました。

交流会では理事長挨拶の後、来賓で区長代理の柿本大田区産業経済部部長と、高橋商工中金営業課長の挨拶を戴き、宴に入りました。

今回の交流会では、初めてお見えの組合員の方が5社ほど有り、皆さんと交流できたことは、非常に良かったと思います。

又、宴の途中で、昭和20年代から、最近

の様子迄の写真をスライドショーにして、見て頂きました。

当組合は創立64年経過していますが、改めて写真を見ると、先輩達はその時代、時代で一生懸命取り組んで、築きあげて現在が有るといふことを、認識させられました。

これからも伝統と歴史の有る当組合を活性化させるために今回の交流会は、大変意義が有りました。

最後に当組合を支えて頂いている、組合員企業のますますの発展を祈念致します。



交流会



木鶏会々長ご挨拶



会長

望月 直人

新年明けましておめでとうございます。

今年3月で、木鶏会の会長として二期目を終える年となりました。

木鶏会での勉強のなかで私にとって常に大切にしていることは、先輩、後輩をとわず、会員の皆さまからの言葉です。

言葉は、ある意味魔法のような力があると思います。

勇気をいただいたり、元気をもらったたり『よし、頑張るぞ!』と自分を奮い立たせるエネルギーの源となりました。

時として、言葉によって打ちのめされるような気持ちになることもあります。それは反省材料として受け止め、次の場面へ進むための力に変えればよいのです。

昨年は新しい会員が増えた中、若い会員が自分たちで力をつけ、いろいろな事に言葉を発信してくれている事が、皆さまと感じられた年でした。

私自身、これからの木鶏会に大きな期待と、楽しみを感じております。

組合員、木鶏会員の皆さまには、これからも木鶏会をよろしく願っています。

木鶏会の活動

一月九日

1新春講演会

講師 京都大学教授 中西輝政 氏

テーマ 「日中冷戦時代の到来」

2新春賀詞交歓会

二月十二日

正副会長会議及び定例経営サロン

1平成二十四年度決算報告について

平成二十五年度予算案について

全員異議なくこれを諒察

2定例経営サロン 飯室氏担当

講師 (株)マテリアル 代表取締役 細貝 淳一氏

三月十二日

1木鶏会総会

講師 (株)日本M&Aセンター代表取締役会長

分林 保弘 氏

テーマ 中小企業の存続と発展の戦略とは？

～後継者問題とM&A～

3懇談懇親会

四月九日

定例経営サロン 望月直人会長担当

四月十七日

大田工連青年部連絡協議会総会

五月十四日

定例経営サロン 田村副会長担当

講師 プロドライバー 横溝 直輝氏

六月一日

懇親ゴルフ会開催

場所 木更津ゴルフクラブ

六月十一日

定例経営サロン 古川氏担当

講師 (有)ルーマス 代表取締役 三井 豊久氏

七月十三日・十四日

大田工連青年部連絡協議会引継ぎ研修会

七月九日

納涼サロン

会場 ガーデンレストラン オールデイダイニング

七月二十七日

大田工連青年部連絡協議会納涼会

八月二十七日

大田工連青年部連絡協議会講演会

九月十二日

定例経営サロン

講師 愛知淑徳大学 真田幸光教授

テーマ 期待と不安の世界経済と日本

九月十九日

大田工連青年部連絡協議会 工場見学

日産自動車(株) 座間工場

十月八日

1木鶏会五〇周年記念行事実行委員会開催

木鶏会五〇周年記念行事について

全員異議なく承認

2定例経営サロン 今田 氏担当

講師 (有)安久工機 代表取締役 田中 隆氏

3交流会

十月二十三日

東京都中小企業団体青年部協議会 蒲田西口

木鶏会若手会員 座談会

蒲田駅西口「がんど蒲田店」

十一月二六日・一七日

十一月八日・九日

工場見学 (株)藤田ワークス 鹿児島県霧島市



(株)藤田ワークス 工場見学

十一月十二日

定例経営サロン 望月会長・田村副会長 担当

十二月十日

忘年会

会場 汐留 ソラシオ (SORASSIO)

十二月十八日

大田工連青年部連絡協議会忘年会

木鶏会若手座談会開催

日時・平成25年10月23日(水)

場所・『がんど蒲田店』

出席者・8名

補助金の活用と、平成26年の抱負として、

自社と木鶏会との関わり方を話し合いました。補助金については、国のものづくり補助金が平成25年から施行され、トライして無事、補助金がおりました会員企業も有りました。一方で手続きが煩雑で断念したところも有りました。

いづれにしても補助金申請の手続きをすることによって、結果は別にしても、自社の現状を再認識し、経営の内容の見直しするきっかけになります。

自社については、皆さんは平成26年を攻めの年にして、前年以上に受注確保に向け取り組むと同時に、社員教育にも力を入れていきたいということでした。

今回の座談会を通して、若手経営者が自社のことや、勉強、修業の場で有る木鶏会に対して、熱い思いれと、真摯に向き合っている姿に共感しました。

木鶏会については、定例サロンでより情報交換を密にして、先輩方が長年築きあげてきたDNAを受け継いで、この3月から高原新会長の元で結束し、より良い会に発展させて行きたいと思えます。



謹んで新年のご挨拶を申し上げます



蒲田工業協同組合

(五十音順)

尼寺空圧工業株式会社

尼寺 実

株式会社新井久四郎鉄工所

新井 陽一

イーター電機工業株式会社

山本 浩之

有限会社梅津製作所

遠藤 浩樹

株式会社エヌシーネットワーク

内原 康雄

株式会社エヌエスシー

村岡 純一

株式会社エフエス

古岡 正之

荏原工業株式会社

長井 俊樹

エビノ電化工業株式会社

海老名 伸哉

株式会社大谷造機所

大谷 文雄

岡田鋳金株式会社

増田 道造

金勝産業株式会社

金勝 恒男

有限会社川村製作所

川村 有史

株式会社気球製作所

豊間 清

株式会社極東精機製作所

鈴木 健一

京浜技研工業株式会社

山下 政和

有限会社京浜プレス工業所

齊藤 喜久雄

株式会社弘機商会

高原 隆一

株式会社浩伸技研

森田 淳士

佐々木発條株式会社

佐々木 毅彦

産業医・医学博士

佐藤 精一

株式会社三栄精機工業

今田 悠

株式会社三協アルマイト

岩崎 登喜雄

杉谷金属工業株式会社

杉谷 宗弘

有限会社須藤製作所

須藤 敏男

第一金属工業株式会社

菅谷 義弘

太産工業株式会社

千葉 泰常

大志工業株式会社

沖山 裕夫

謹賀新年

蒲田工業協同組合

(五十音順)

顧問 西ヶ谷 勝美
相談役 増田 道造

理事長 荻野 茂
副理事長 大谷 文雄
副理事長 田村 知之
専務理事 長井 俊樹
常任理事 須藤 敏男
常任理事 望月 直人

理事 新井 陽一
理事 飯室 肇
理事 岩崎 登喜雄
理事 加藤 進弘
理事 齊藤 喜久雄
理事 菅谷 義弘
理事 鈴木 健一
理事 竹内 榮多
理事 鳥海 保男
理事 野口 広

監事 佐々木 毅彦
監事 高原 隆一
監事 宮澤 章

事務局長 沢登 正彰

謹んで新年のご挨拶を申し上げます



蒲田工業協同組合

(五十音順)

大進精機株式会社

宮 田 正 広

大成工業株式会社

鎮 目 哲 郎

株式会社瀧口製作所

古 田 茂 樹

株式会社タムラエンジニア

田 村 知 之

株式会社タンケンシルセーコウ

山 内 祐 二

ティヴィバルブ株式会社

竹 内 榮 多

株式会社寺岡精工

寺 岡 和 治

同和発條株式会社

川 嶋 治 彦

東亜株式会社

小 柳 優

株式会社東京精密器具製作所

西ヶ谷 邦 夫

株式会社東京ハードフェイシング

吉 田 裕 二

有限会社巴精工所

武 市 孝 雄

株式会社鳥海製作所

鳥 海 哲 司

株式会社中谷機械製作所

中 谷 和 彦

永森電機株式会社

永 森 忠 臣

南旺工業株式会社

林 隆 史

株式会社日産電機

中 村 國 男

株式会社日章機械

小 林 章 彦

日本チエン・ギヤー

無段変速機株式会社

加 藤 進 弘

株式会社羽田パイプ製造所

野 口 広

有限会社早崎製作所

早 崎 吉 春

深尾精機株式会社

中 井 富 士 夫

富士馬鋼業株式会社

宮 川 正 雄

有限会社富士精機製作所

荻 野 茂

株式会社富士テクノマシン

飯 室 肇

株式会社藤原製作所

藤 原 康 明

株式会社文化精工

桑 原 久 直

株式会社マコメ研究所

沖 村 文 彦

株式会社マサオプレス

宮 澤 章

有限会社松原精機製作所

松 原 栄 一

株式会社松原製作所

松 原 一 喜

丸中金属有限会社

八 卷 孝 之

三津浜工業株式会社

富 岡 恵 子

睦化工株式会社

古 川 亮 一

有限会社望月塗工研究所

望 月 直 人

有限会社師岡飯金製作所

師 岡 正 雄



HACCP 高度化基準認定工場

となんのお料理をどうぞ

都南工業給食協同組合

大田区南六郷三ー十五ー一

TEL 三三三二ー七四五一 (代)